京都地域未来創造センター No. 7 京都地域未来創造センター No. 7

# 【研究成果の発信】ブックレットNo.6刊行

# 『現場からみた「子どもの貧困」対策~行政・地域・学校の現場から~』

はじめに 小沢 修司(副学長・公共政策学部教授)

〈第1部〉子どもの貧困対策に取り組む自治体・地域の先進地事例から

情報がつなぐ、情報でつなぐ子どもの未来 - 箕面市の取り組み-

(福知山公立大学准教授・京都地域未来創造センター特任准教授) 親子の孤立をときほぐす包摂社会

- 南風原町民生部こども課の「子どもの孤立」対策-

朝田 佳尚(公共政策学部准教授) 文化の変容を目指す「下から」の多角的連携 - こどもソーシャルワークセンターの地域活動-

朝田 佳尚

第4章 NPOによるアウトリーチと行政による教育政策が クロスする子どもの貧困対策-佐賀県・武雄市の取り組み-

子どもの貧困対策に取り組む先進事例の分類と対策の方向性 朝田 佳尚

〈第2部〉 学校プラットフォーム」 とスクールソーシャルワーカー

京都府におけるスクールソーシャルワーカー配置の現状と課題 久木山 信光 (公共政策学研究科博士前期課程)

子どもの包括的支援の「プラットフォーム」に学校がなりうるために

長谷川 豊 (公共政策学部准教授)

おわりに 小沢修司

注:肩書は2017年度

センター(前身:京都政策研究センター)では研究成果をわ かりやすく伝えるために、年1回、ブックレットを発行してい ます。

第6巻のテーマは「現場からみた「子どもの貧困」対策」で す。本学公共政策学部の教員を中心に、第一部では、子どもの 貧困対策で実績をあげている5つの先駆的取り組み(大阪府箕 面市、沖縄県南風原町、こどもソーシャルワークセンター(滋 賀県大津市)、スチューデントサポートフェイス(佐賀県)、 佐賀県武雄市)から今後の地域における子どもの貧困への取り 組みに求められる方向性を示し、第二部では「学校プラット フォームとスクールソーシャルワーカー (SSW)」をテーマに 現状分析と提言を行っています。

(出版社:公人の友社 価格:1000円+消費税)



# 【政策研究】2017年度報告書を公開しました

# 「京都府政の重要課題に対する政策研究」

京都府受託研究「京都府政の重要課題に対する政策研究」の報告書をセンターのホームページで公開しました。

(1) 「小規模町村に対する都道府県支援手法調査研究」

(京都府自治振興課/公共政策学部 川勝准教授・下村准教授・松岡准教授他)

(2) 「実験を通じた技術者のスキルアップ等により住宅耐震化促進を図るための調査研究」

(京都府建築指導課 /生命環境科学研究科 田淵准教授・神代助教)

# 京都地域未来創造センター事務局新メンバーの紹介



#### 梅原 豊 /京都府立大学 公共政策学部 准教授

初めまして、京都府庁を今年の3月に定年退職し、4月から京都府立大学の公共政策学部で教員としてお世話になってい る梅原です。京都未来創造センターのスタッフとしても参加をさせていただくことになりました。前身の京都政策研究セン ターの折から、府職員として地域力再生プロジェクトの評価や公共空間活用事業の施策立案など、何度かセンターの方々 と、打合せにきたことを懐かしく思い出します。

これからは立場は変わりますが、行政職員の方々や地域の方々と協働し、これまでの自分の経験や知識を活かし、より よい地域づくり、よりよい未来づくりに向けて少しでもお手伝いができたら幸いです。どうかよろしくお願いします。



#### 井尻 直也/主任研究員

南丹市からの研修派遣職員として4月からセンターに加わることになりました井尻直也と申します。これまで小中学校の 施設管理、介護保険、農林業振興など様々な業務で携わった経験もありますが、職場を離れて新たに気付けることなど貴重 な経験を多くできると思っております。

大学での地域連携や地域貢献事業などの業務を通じて、自治体、企業、団体、地域、大学教職員とのつながりを大切に し、地域の振興や課題解決に関わる一員として務めてまいりたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



# 橋爪 さやか/研究員

この4月から京都地域未来創造センターで勤務することになりました橋爪さやかと申します。私は精華町からの派遣職員 として2年間お世話になります。精華町では、7年間、町の予算や決算、財産管理などを中心に行っていましたので、あま り住民のみなさまと接する機会が少ない部署で仕事をしてきました。この2年間では、京都地域未来創造センターの職員と して、府民、NPO、行政、企業等と連携した調査研究に取り組み、府民や社会に少しでも還元し、地域の文化・産業の発 展に貢献できるよう、精一杯努めていきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。



# NEWS LETTER



# **KIRP**について

#### 〒606-8522

京都市左京区下鴨半木町1-5

## 京都府立大学

京都地域未来創造センター



京都地域未来創造センター設立2年目がスタートしました!

センター長より

京都地域未来創造センターは、昨年4月に発足し、2年目を迎えました。本年度は、初年度の 経験をもとにさらにアクティビティを活発にし、センターの発展、充実をはかる年であると感じ ております。

センターでは様々な活動を行っておりますが、特に地域貢献型特別研究(ACTR)は京都府内の 各市町村からいただいた諸課題を解決するために、本学の教員が各人の専門性を活かして調査研 究を行っております。各市町村と結びつきをより強固にするため、包括協定の締結を行い、各市町 村に"寄り添う"形での地域貢献に力を注いでおります。

また、地域のためのシンクタンクとして、調査研究や協働 研究も行っており、様々な活動を通じて、地域活性、地方創 生に資する活動を行っております。今年度もセンターのメン バーや本学の教員が積極的に各市町村を訪問し、少しでも府 民の皆様のお役に立てればと思っております。

このような活動を通じて生じた知的財産の保護や成果物の 社会還元が必要な際には、センターのもう一つの機能であり ますリエゾンオフィスにて適切に管理、運営をしていきたい と思います。地域貢献活動とリエゾン機能を有機的に連携さ せることで、より実効性のある地域貢献を目指していきたい

と思います。よろしくお願いいたします。

京都地域未来創造センター長 副学長・生命環境科学研究科教授 宮藤 久士

# 【生涯学習】府民対象 公開講座

2018年度 桜楓講座(春の部)を開催します

6月9日(土)10:00~12:00

「中学生も注目!早生樹が変える日本の森林の未来」生命環境科学研究科助教 糟谷信彦



近年、全国的に早生樹の植林に注目が集まっています。今年度の「森 林・林業白書」に早生樹という用語が16回も登場しました。スギの伐 採跡地に、代表的な早生樹のセンダンを植えればわずか10~20年で収 穫が見込めるとされ、林野庁近畿中国森林管理局では重点取組事項と して福井県、岡山県、兵庫県などに大学と共同で試験植林を開始して います。

本講座では、特に有用材として注目を集めている早生樹のセンダン について、関西地域を中心にとした植栽試験の取り組みや、中学校に 植栽した環境教育の事例を紹介しつつ、今後の可能性について語りた いと思います。

6月23日(土)10:00~12:00

「地域からみた日本の安全保障政策」 公共政策学部教授 川瀬光義

この国の基幹的国策の一つである安全保障政策をめぐり、沖縄の多くの人々からしばしば「日米安保条約が 大切なら、その負担は等しく負うべきではないか」と問いかけられます。私たちは、この問いかけにどう答える べきでしょうか?

本講座では、日米安全保障条約について、日本側の義務である基地の提供という側面から、とくに過大な基地 負担を押し付けられている沖縄の視点から考察することとします。

会場:京都府立京都学・歴彩館 大ホール

京都地域未来創造センター No. 7

# トピックス

【受託研究】

センターでは、今年度は以下の受託研究事業について調査研究を進めていく予定です。

## 【調査研究(シンクタンク機能)】

①政策研究(受託研究)

京都経済同友会「京都府北部地域における観光人材調査業務」

京都府市町村振興協会「海外行政調査研究プログラム研修業務(シンガポール)」

#### ②府大地域貢献型特別研究(府大ACTR)

今年度採択された21件(詳細は次頁参照)のうち、舞鶴・宇治・城陽の各市で実施する以下の3件については、

本学教員、市役所職員、大学生、NPO等によるプロジェクト体制に京都地域未来創造センターも加わり、

一丸となった共同研究を進めます。

舞鶴市:「舞鶴市大浦地区における課題対応型住民組織(地域運営組織等)の形成過程に関する研究」

宇治市:「宇治市・西小倉地域(近鉄小倉駅周辺)における市民との協働型まちづくりのあり方検討」 城陽市:「産業関連情報の総合的集約とそれを用いた地域産業情報支援および情報発信産業支援サイトの

あり方と活用方策」

※地域課題に対する相談・研究依頼は京都地域未来創造センターまでお問い合わせください。

# 【学生の地域貢献活動支援】

## センター学生ラジオ部会「かぷらじ」学長賞・法人理事長賞を受賞!

センターの学生ラジオ部会「かぶらじ」が学長賞・法人理事長賞を受賞しました。「かぷらじ」は、学生によるラジオ広報「KPUKPUラジオ」、通称「かぷらじ」を企画運営しています。本学に興味がある中高生や地域の方向けに、学生の活動や大学行事、本学研究者のインタビューなどを紹介するほか、北山エリアのイベント情報を発信するなど、学生の目線で大学や地域のホットな話題を提供しています。受賞を機にますますパワーアップしています。



「かぷらじ」法人表彰式の様子

放送日:毎月第4金曜日22時から コミュニテ FM「京都三条ラジオカフェ」にて放送中。 京都三条ラジオカフェのサイトから視聴できます。

# 【人材育成】2018年度 連続自治体特別企画セミナー全4回開催

## 2018年度テーマ「新たな社会変革を活用する地域社会のゆくえ」

センターでは、2009年度より、幅広い視野から地方自治に関する知識の習得と政策形成能力の向上を図るため、年間を通じての連続セミナーを開催してきました。

今年度のテーマは、「新たな社会変革を活用する地域社会のゆくえ」。

新しい発想や技術を生かした地域社会での課題解決の実践に着目し、行政機関に限らず多様な主体の共創によってイノベーションを創出し社会変革に結びつけるための考え方と方法を学び、普及に向けたヒントを探ります。



昨年度のセミナーの様子

#### 第1回

- 日 時: 9/27 (木) 15:00~17:30
- 車の自動運転・シェアリングは地域をどう変えていくか
- 講 請 師:シューマッカー・ヤンディャク氏 (予定)

(京都大学工学研究科都市社会工学准教授)

- 基調報告:安藤良輔氏(公益社団法人豊田都市交通研究所研究部長)
- 事例報告:東恒好氏(NPO法人「気張る!ふるさと丹後町」広報担当理事)
- □ コーディネーター:青山公三 (京都地域未来創造センター統括マネージャー)

■ 会 場:京都府立大学 稲盛記念会館1階 104教室

## 第2回

- 日 時: 11/15 (木) 14:00~16:30
- \_\_\_\_\_ ■ ティール組織~未来をつくる全く新しい組織モデル (仮)
- 講師:嘉村賢州氏(東京工業大学大学院リーダーシップ教育院特任准教授)
- 事例報告:日本での類似企業からの事例報告

**Kyoto Institute for Regional Prospects** 

- 報告者:岩崎仁志氏(株) ヒューマンフォーラム代表取締役社長)
- コーディネーター:梅原豊(京都府立大学公共政策学部准教授)
- 会 場:京都府立大学

## 第3回

- 日 時: 12/13 (木) 15:00~17:30
- 地域で多様な人々を包摂する新しい働き方のデザイン(仮)
- ■講演:超短時間雇用という新しい働き方
- 講師:近藤武夫氏(東京大学先端科学技術研究センター人間支援工学分野准教授)
- 事例報告:発達障害などを持つ学生と地域をつなぐICTを活用した プラットフォーム事業
- 報告者:窪貴志氏(株式会社エンカレッジ代表取締役)
- コーディネーター: 朝田佳尚(京都府立大学公共政策学部准教授)
- 会 場:京都府立大学

# 第4回

- 日 時: 1/10 (木) 15:00~17:30
- 都市と農山村の関係の新潮流-移住・交流・関係人口(仮)
- 講師:筒井一伸氏(鳥取大学地域学部地域学科地域創造コース 教授)
- 事例報告: (調整中)
- コーディネーター:上杉和央(京都府立大学文学部准教授)
- 会 場:京都府立大学

# 京都地域未来創造センター No. 7

# 【調査研究】2018年度京都府立大学地域貢献型特別研究(府大ACTR)が決まりました

## 採択結果

本学では、京都府内の地域振興や産業・文化の発展等に貢献することを目的として、2004年から地域貢献型特別研究(ACTR)に取り組んでいます。今年度は次の21件の研究が採択されました。今後は本学教員を中心に各地域での調査研究が始まります。

#### ACTRとは?

ACTRは、Academic Contribution To Region の略で、「地域に貢献する学術研究」を意味します。京都府内の市町村、府内に立地する企業、NPO等から寄せられた地域課題の提案に基づき、本学教員とマッチングが成立した研究に対して、学内外の審査員による審査会を経て決定しています。

過去の研究実績が、地域別、



研究テーマ	代表者
丹後地域の高大連携、世代間交流を核とした文化遺産活用	東 准教授(文)
綾部市君尾山光明寺の総合調査―"森の京都"における文化資源の発掘と活用	横内 教授(文)
舞鶴市大浦地区における課題対応型住民組織(地域運営組織等)の形成過程に関する研究	梅原 准教授(公共)
刑事施設を出所した女性の円滑な地域生活導入に向けた更生保護施設の役割の検討	山野 准教授(公共)
絶滅したと考えられた京都固有在来ブドウ品種'聚楽'の復活と新たな利用方法の確立	板井 教授(生命)
京都伝統食品「発酵食品」の品質向上・維持を目的とした菌叢解析	井上 講師 (生命)
産業関連情報の総合的集約とそれを用いた地域産業情報支援および情報発信産業支援 サイトのあり方と活用方策	岩﨑 准教授(生命)
早生樹の活用による森林資源の再造成への挑戦、学校の環境教育の実践	糟谷 助教(生命)
京都府産宇治茶の独自性と優位性を確保・発展させるための茶の優良形質に関する 遺伝的・栽培生理的研究	久保 中央 教授(生命)
京都府産木材の流通強化に向けた原木段階での強度等級予測手法の展開と原料調達・製品製造シミュレーション	神代 助教(生命)
精華町の里山整備に向けた関連基盤情報の収集と解析ならびに情報共有	田中 教授(生命)
府立大学で育成した「洛いも」の精華町における特産農産物化に向けた安定生産および総合的な利 用技術の開発	伊達 講師(生命)
酒造原料米「京の輝き」による純米吟醸酒「なからぎ」とその副産物を利用した桂瓜の 奈良漬どぶろくの評価研究	中村 講師(生命)
京の竹工芸の科学によるブランド化と市場創生のための基礎的研究 - 放置竹林撲滅・地域活性化に向けて-	古田 教授(生命)
逆転の発想による和紙原料栽培の多角的活性化と和紙新時代への寄与	細矢 教授(生命)
宮津市域の伝統的祭礼・芸能・文化に関する調査研究とその成果公開	松田 講師(生命)
脱炭素化社会を実現する観点から見る大学生・小学生と地域住民の意識と行動の変容に関する調査 研究	松原 教授 (生命)
京都市産木質ペレットの新規用途の開拓と有用性の検証	宮藤 教授(生命)
食品ロス削減に向けた社会実験研究-精華町の実態を踏まえた効果的な施策に向けて	山川 教授(生命)
宇治市・西小倉地域(近鉄小倉駅周辺)における市民との協働型まちづくりのあり方検討	京都地域未来創造センター・ 青山総括マネージャー
ICOM京都大会2019に向けたVirtual Field Museum of Kyotoの開発	田中 教授(生命)

注: (文) …文学部 (公共) …公共政策学部 (生命) …生命環境科学研究科